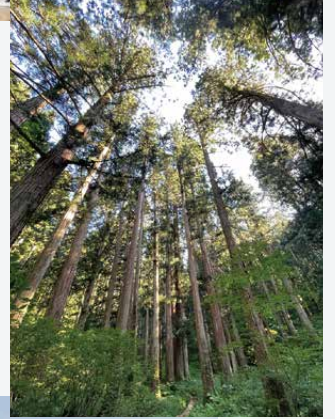




立教大学大学院

社会デザイン研究科

Graduate School of Social Design Studies



その問題意識が、  
社会を変えていく。



GUIDE BOOK 2025



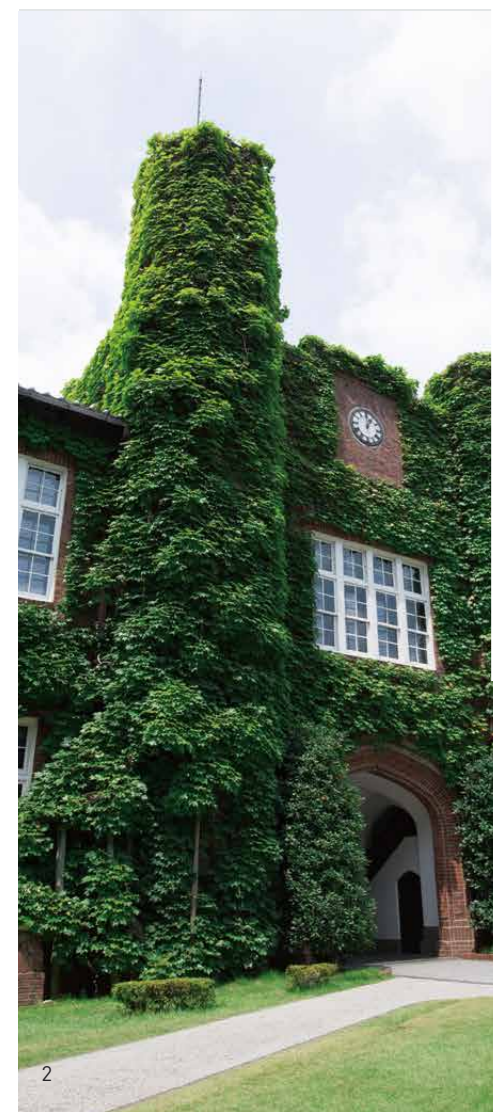


# 次の社会を デザインするのは あなたです。

二つの世界大戦を経験し、希望と期待をもって迎えられたミレニアムは米国同時多発テロという新たな形の「戦争」とともに幕を開けました。その翌年の2002年に、本研究科は非営利・公共分野にかかわる組織の運営・経営人材を輩出する日本初のビジネススクールとして船出しました。以来20年、あらゆる次元での分断・対立が先鋭化し、地球環境の悪化とともに未曾有の自然災害が世界各地を襲う時代に突入しています。そのしわ寄せはいつも社会のもっとも脆弱な層に及びます。

私たちが考える「社会デザイン学」とは《多様性に富んだ持続可能な共生社会を創成するために必要な思考と実践に関する学び》です。既存の社会を前提とした、現状維持の社会デザインではなく、こうした課題を解決するために社会そのものをデザインしなおそうという知恵と勇気が問われています。国内外の社会が直面している、さまざまな課題の解決を目指す方、そして置かれた環境や年齢、困難にかかわりなく、自分自身の人生をよりよく生きようと思う方、ぜひ共に学んでいきましょう。

社会デザイン研究科 研究科委員長  
長 有紀枝



## CURRICULUM

# カリキュラム

次の社会のグランドデザインを描くために、社会を俯瞰する「鳥の目」と足元を見つめる「虫の目」、マクロとミクロ、理論と実践をつなぐ3つの研究領域と5つの科目群を設定。

### 【研究領域】

#### コミュニティデザイン学

福祉、文化、メディア、ジェンダーなどの多様な社会課題について、NPO/NGOなどの非営利組織や市民の役割を意識し、「誰ひとり取り残さない」包摂的な地域社会の構築を目指し、実践的研究を行う

#### グローバル・リスクガバナンス

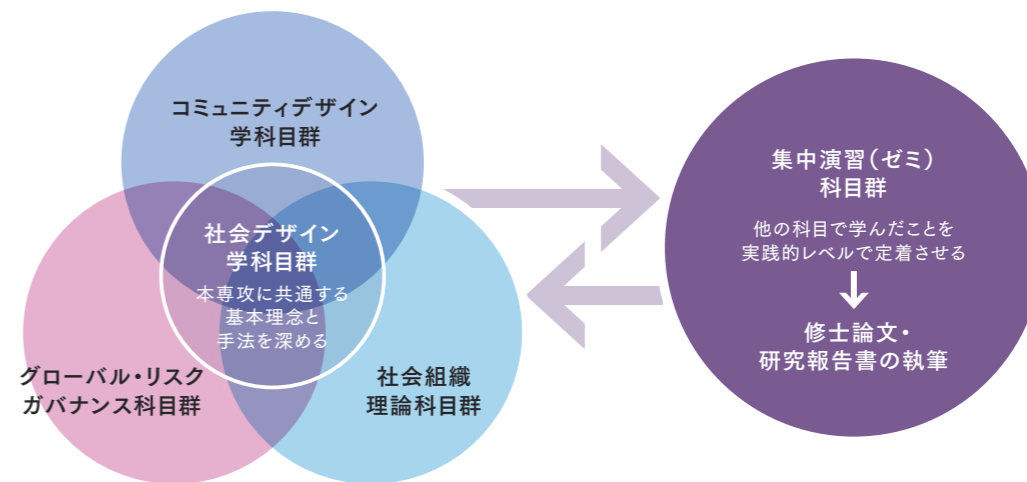
個人や地域、世界が直面するリスクや危機に対処し、生命や尊厳が尊重される平和な社会を構築する理論と実践的な方法を探求する

#### 社会組織理論

社会における組織原理とその歴史的過程を検証・解明し、多様なアクターが連携協働するための新しい社会理論を創出する

### 【科目群】

5つの科目群をそれぞれ有機的に関連させた学際的な授業を通じて、幅広い視野と総合的な判断力を養います。



### 研究と指導の特色

#### ■実務的、実践的な研究に重きを置いた指導

従来の学問領域を横断する柔軟な発想の総合的、多角的な理論研究を基盤としながらも、実務的・実践的研究に重きを置き、具体的な問題解決を図るための指導を行います。そのために、専任の教員以外にも、各分野で高い見識を持つ専門家を講師に招聘するなど学外との相互交流を促進し、外部との共同研究や共同活動の可能性を広げています。なお、本研究科では、博士課程前期課程(MBAコース)に加えて、博士課程後期課程(DBAプログラム)を設け、実践に基づく先駆的な研究者の養成も行っていきます。

#### ■複数の指導教員による徹底した研究指導

1年次より正副2名の指導教員による徹底した研究指導を開始します。ゼミ形式のグループ指導、個別面談によるマンツーマン指導、ゼミ合宿などを活用して論文や研究報告書の執筆を支援します。学生自身の自主的な勉強会、交流会も相互研鑽の機会として奨励しています。

#### ■産学地域連携に基づく研究教育活動の推進

各分野・科目群では、関連学会やパートナー企業、NPO/NGO、自治体、地域との連携による実践的研究の機会も追求しています。

### 2024年度開講科目(博士課程前期課程) 一部抜粋

#### 社会デザイン学科目群

社会学原論／自然学の方法／アイデンティティ論／メディアとしての読書文化論／社会デザイン学の可能性／メディアとしての読書文化論／プラットフォームと社会デザイン／オーラルヒストリーとデジタルアーカイブ／リスク学原論／論文作成法

#### コミュニティデザイン学科目群

社会デザインと福祉課題／文化政策論／エシカル消費総論／公共と市民社会／政策立案・評価／資源と環境の経済社会論／都市環境生活論／ジェンダーとコミュニティ／社会課題と企業経営／社会問題の分析理論

#### 社会組織理論科目群

社会デザインと社会学の方法／社会的人間存在論／対話と社会デザイン／持続可能社会と行政ガバナンス／持続可能社会と地域ガバナンス／ライフコースとキャリア／非営利法人制度論／地方自治と社会政策／福祉システム論／社会調査法

#### グローバル・リスクガバナンス科目群

防災政策論／リスクガバナンス論／リスクコミュニケーション論／ホロコースト再考／人間の安全保障論／エシカル消費総論／アジアと平和／経済学と人間学／人新世の社会デザイン学概論／環境人文学



## 単なる知識にとどまらない 新たな職能を育てる出会い。

理論的な研究を基盤としながらも、実務的・実証的研究に重きを置いた指導を行っています。そのため専任教員以外にも、各分野で高い見識をもつ学外の第一線の理論家・実務家とのネットワークを活用して、学生の研究と実践活動をサポートしています。教員とのやりとりや院生同士の関わりあいの中から、決して単純な知識やスキルの獲得にとどまることのない実践的研究力と新たな職能を、自らのうちに育ててください。



院生専用ラウンジ



### 池袋図書館

収蔵可能冊数200万冊、閲覧席数1,520席を有する国内の大学でも屈指の大規模図書館です。大学院の授業前後に図書館で資料を収集することができます。軽飲食を取ることが可能なリフレッシュルームやテラスを設置し、館外にはカフェを併設しています。

※院生室：平日8:30～23:00、土曜日8:30～20:00、日曜・祝日8:30～19:00利用可  
※池袋図書館：平日8:30～22:30、土曜日8:30～20:00、日曜・祝日10:00～17:00開館  
(長期休業期間は利用時間が異なります。)



### 社会デザイン研究科院生室

社会デザイン研究科の学生のみが利用できる院生室を用意しています。パソコンやプリンタを完備し、平日休日問わず自由に使用可能。院生室フロアには、院生室のほか、共同ラウンジやオンライン対応ブース、ロッカー等が用意されています。

## PROFESSOR 教員紹介 (社会デザインコース)

2024年度の教員一覧です。\*印の教員は、博士課程後期課程の研究指導は担当しません。\*\*印の教員は、博士課程前期課程のうち社会デザイン学コースおよび、博士課程後期課程の研究指導は担当しません。



倉本 由紀子 教授

[主要研究テーマ]  
国際関係論、社会開発とジェンダー、グローバル・ガバナンス



大熊 玄 教授

[主要研究テーマ]  
東洋思想、日本哲学、哲学対話



三浦 建太郎 特任准教授\*

(2025年3月 退職予定)  
[主要研究テーマ]  
福祉介護情報論・地域福祉活動(グリーンケア・生活困窮者支援等)実践



河口 真理子 特任教授\*

[主要研究テーマ]  
ESG投資、CSR、エシカル消費、文明論



若林 朋子 特任教授\*

[主要研究テーマ]  
文化政策、芸術・文化支援、アートマネジメント、助成、評価



亀井 善太郎 特任教授\*

[主要研究テーマ]  
公共政策、統治機構、政策評価・立案、CSR経営、市民社会、財政・社会保障政策等



中野 佳裕 特任准教授\*\*

[主要研究テーマ]  
社会理論、思想史、応用哲学、批判開発学、社会発展パラダイム研究、人新世研究、トランジション・デザイン



中森 弘樹 准教授

[主要研究テーマ]  
社会病理/社会問題論、親密性論、社会調査、現代社会論



長 有紀枝 教授

[主要研究テーマ]  
ジェノサイド予防、文民保護、移行期正義、人間の安全保障



品治 佑吉 助教\*

[主要研究テーマ]  
社会学史、メディア論、ライフコース論、知識の社会学、社会調査



長坂 俊成 教授

[主要研究テーマ]  
リスク学、防災危機管理、アーカイブ、情報プラットフォーム、モバイル建築、社会デザイン



丸山 俊一 特任教授\*

[主要研究テーマ]  
映像メディア論、サブカルチャー論、AI社会論、経済社会学、社会哲学



滝口 直樹 特任教授\*

[主要研究テーマ]  
持続可能な社会、環境行政、パートナーシップとガバナンス、科学と政策、越境

### 研究科教員

二ノ宮リム さち 教授\*\* 武藤 亜子 特任教授\*\*

### 客員教授(敬称略)

稲葉 剛 梅本 龍夫 指田 朝久 塩地 博文  
細川 淳 牧 慎太郎 宮本 聖二 吉田 敏浩

# 仕事や家庭と両立できる ハイフレックス型授業。

本研究科は、地域・職場の中で社会課題の解決に取り組む社会人や学部から進学する若者に対して、社会デザインの実践的な学びと研究の機会を提供することを使命としてきました。コロナ禍を経てワークスタイルやライフスタイルが大きく変化の中で、学生が同じ内容の授業をオンラインでも対面でも受講できるハイフレックス型授業を導入しています。教員は対面で授業を行い、学生は自身の状況に応じて対面授業を受講するかオンライン授業を受講するかを選択できます。

(一部の特殊な授業はオンラインのみ、または対面のみとなります)



## 1週間のスケジュール例 社会人学生Aさんの場合

平日はオンライン授業中心、土曜日は図書館で調べものをしたり対面で授業やゼミを受講。仕事に加え育児もあるため、平日の夜に同期とオンライン勉強会を実施して、情報交換をしたり励ましあったりして交流を深めています。

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00
月	起床	準備・朝食・家事							仕事(在宅勤務)				家事	授業(オンライン)	家事	課題・研究			就寝
火	起床	準備・朝食・家事	通勤						仕事(出社)				帰宅(電車で読書)	夕食・家事・プライベート時間		課題・研究	同期とオンライン勉強会		就寝
水	起床	準備・朝食・家事	通勤						仕事(出社)				帰宅(電車で読書)	授業(オンライン)	家事	課題・研究			就寝
木	起床	準備・朝食・家事	通勤						仕事(出社)				帰宅(電車で読書)	夕食・家事・プライベート時間		課題・研究	同期とオンライン勉強会		就寝
金	起床	準備・朝食・家事	通勤						仕事(出社)				帰宅(電車で読書)	夕食・家事・プライベート時間		課題・研究			就寝
土	起床	準備・朝食・家事	通学	図書館で自習	授業(対面)	昼食	授業(対面)	授業(対面)	ゼミ(対面)	買い物・帰宅	プライベート時間				論文執筆				就寝
日	就寝	起床	朝食・家事	課題・読書					プライベート時間				夕食・家事		論文執筆				就寝

## INTERVIEW

### 修了生の声

問題意識を持った仲間たちと議論を交わした2年間は、濃密な時間でした。



牧 紳太郎さん(農業法人勤務)

19年前、発展途上国への工業支援の現場を目にし、農業の大切さに目が向く。帰国後、全寮制の農業学校で学んだのち広告代理店で農水省の広報施策を担当。10年前から現職。現在は在学中の研究テーマだった農村暮らしを実践中。2020年3月修了

私が大学院に進学したきっかけは、国内農業の厳しい現状とその未来に対する問題意識からです。昨今、農業にも急速なデジタル化が進む一方、いまだ多くの地域社会を支えている伝統的な農業が、担い手の不足や高齢化によって存続の危機に晒されています。ウクライナ危機で明るみになったように、麦や大豆といった重要品目の多くを輸入に頼る日本にとって、私たちの生活や日本の食料安全保障はどうなるのかと憂慮していた時、私は社会デザイン研究科を知りました。

この研究科には、様々な社会課題に取り組む実務家が教員として在籍している

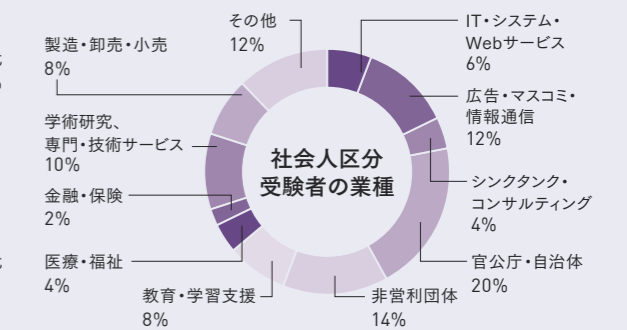
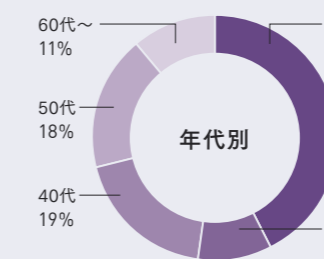
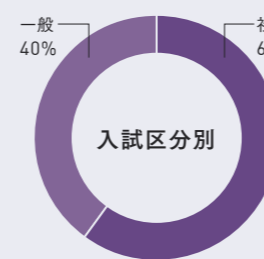
ところが大きな魅力です。私は世界最大のコーヒーチェーンの日本法人立ち上げ総責任者をされていた先生と、難民支援とジェノサイド予防研究の先生に師事しました。一見、相反するように思えるかもしれませんが、国内の農業問題になかなか改善が見られないのは、生産者と消費者、農村と都市の双方に、思いや感情の隔りがあるからではないか。それは様々な対立の発生要因に学べるところがあるかもしれない。そして将来、国民が国内農業の重要性に気づき、拡大させていく際に、コーヒーチェーンの成功を参考にしたいと考え、私は入学を決めました。

入学してからの2年間は、とても濃密で素晴らしい時間でした。テーマは違えど、社会に起因する問題意識を持った仲間たちが集まることで得られる刺激は、とても心地の良い経験でした。私たちのゼミでは、白熱した議論が毎度4、5時間におよび、自発的な夏合宿では、気づいたら16時間が経っていたこともあり。世代を超えて大人たちが真剣に議論する。そこには互いをリスペクトし、良い成果に辿り着いてほしいと願う思いがあるように感じます。徹底的に吸収したことは、その後の人生をも豊かにしてくれます。これを読む皆さんにも是非味わっていただきたいです。

## DATA

### 研究科入学者データ

(2023年度入学者)



### 修了後の進路

本研究科には学部卒、社会人と多様なキャリア、バックグラウンドを持った学生が入学してくるため、大学院修了後も様々なキャリアを歩んでいます。以下は大学院修了後に就職、転職した方の業種・職種の一例です。

#### [新卒学生]

- ・メーカー
- ・IT系企業
- ・システムコンサルティング会社
- ・百貨店
- ・イベント実施会社等

#### [社会人学生] ※ご自身で起業した方を含みます。

- ・NPO・NGO法人
- ・人材コンサルティング会社
- ・経営コンサルタント
- ・医療法人事務
- ・地方公務員
- ・特別区区長
- ・地方自治体議員
- ・大学教員等

## OVERVIEW

# 研究科の概要

研究科の名称	社会デザイン研究科(Graduate School of Social Design Studies)
専攻名称	社会デザイン学専攻(Social Design Studies)

### 博士課程前期課程(社会デザイン学コース)

学位の名称	修士(社会デザイン学) Master of Business Administration in Social Design Studies
開講形態	昼夜開講制<平日17:10以降~土曜日を中心> ハイフレックス型(一部オンライン授業または対面授業のみ、オンデマンド授業も実施)
設置場所	池袋キャンパス
入学時期	4月
入学定員	50名(一般入試・社会人入試・指定法人推薦入試の合計)
入試時期	秋季(9月)と春季(2月)
学費	入学金 225,000円(初年次のみ) ※本学修了生、卒業生は入学金を徴収しません。 授業料 1,043,000円(年額、2024年度実績)
教育訓練給付制度	一般教育訓練給付制度対象(2023年度実績)

※入学定員は、公共・社会デザイン学コースを含みます。

### 博士課程後期課程

学位の名称	博士(社会デザイン学) Doctor of Business Administration in Social Design Studies
開講形態	昼夜開講制
設置場所	池袋キャンパス
入学時期	4月
入学定員	5名
入試時期	春季(2月)
学費	入学金 225,000円(初年次のみ) ※本学修了生、卒業生は入学金を徴収しません。 授業料 1,043,000円(年額、2024年度実績)

#### 博士課程前期課程 公共・社会デザイン学(MSDA)コースのご案内

(9月入学/英語カリキュラム)

英語カリキュラム編成による「公共・社会デザイン学」コース (Master of Social Development and Administration (MSDA) Course)を開設しています。詳細はWEBサイトを参照してください。

The Graduate School of Social Design Studies launched a new English based program called "MSDA" in September 2021, and the website for the program is now available.



お問い合わせ先

独立研究科事務室 社会デザイン研究科担当

TEL 03-3985-3321 平日10:30-18:00/土曜日 10:00-13:30(夏季・冬季休業期間は変更あり)

[入試に関するお問い合わせ] cde-ad@rikkyo.ac.jp [入試以外のお問い合わせ] shindaigakuin@rikkyo.ac.jp